

【取組内容1】 タブレット型端末初期指導プログラム「はじめのいっぽ（仮）」について

開発の経緯

【ICTを活用した授業の課題】

ICTを活用した授業において、タイピングに難があるために、自分の考えを表現できなかつたり、思考にまで至らなかつたりという課題がある。またCBT形式での試験においてタイピングで躓き実力を発揮できないということもある。

【浜松市の現状の課題】

学校、あるいは学年・学級によって、タイピング練習を始める学年・時期、タイピング練習の頻度等に差があり、子供たちのタイピング技能の差につながっている。結果、年度が替わるごとに、また1からタイピング指導を行ったり、低い技能の子に合わせた授業を行わざるを得ない状況が生じたりすることになり、これがICTを活用した授業の推進を阻害する一要因となっている。

【「はままつタイピングメソッド(仮)」開発の理由とねらい】

小学校低学年の児童は、ローマ字を学習していなくても、英文字を図として認識できることから、小学校3年生から一般のタイピング練習ソフトを使って自主的に力をつけていくことができるよう、小学校低学年で段階的にタイピングの力を育成できる「はままつタイピングメソッド(仮)」を開発した。

これにより、タイピング技能向上の下支えを行い、タイピング技能差の縮小と技能の向上を目指すことで、ICTを活用した授業の推進を図る。

【取組内容 1】 タブレット型端末初期指導プログラム「はじめのいっぽ（仮）」 ①ログイン

【事前準備】

- ・児童1人1人に「アカウントカード(アカウントとパスワードが書かれた用紙)」を配付できるよう、準備しておく
- ・タブレット端末(保管庫)を教室内に移動しておく

1

タブレット型端末貸与式



2

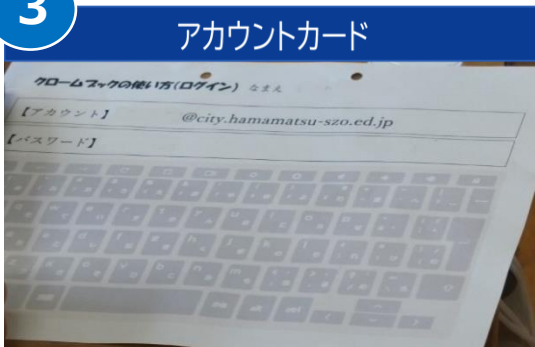
はこぶときは あかちゃんだっこ



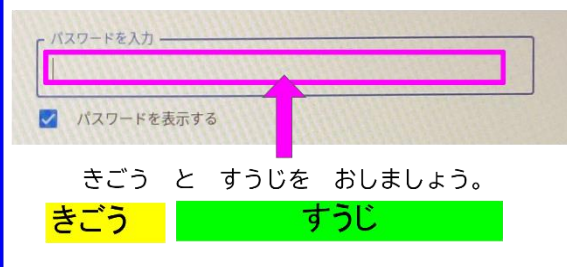
- ①タブレット型端末貸与式を行い、1人1人に声掛けをすることで、タブレット型端末を大切に使うという心情を育てます。
- ②タブレット型端末を運ぶときは、あかちゃんだっこをします。片方の手の平でタブレットの底を支え、もう片方の手で抱きかかえます。
- ③アカウントカードには、大切なパスワードがあります。他の人に見せないようにします。

3

アカウントカード



パスワードを いれましょう



4

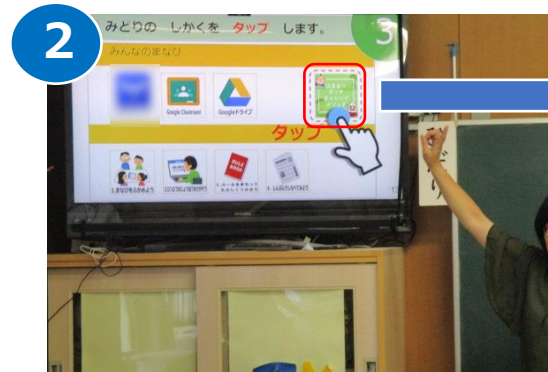


ログインできた！

【取組内容2】 タブレット型端末初期指導プログラム「はじめのいっぽ（仮）」 ②タイピング



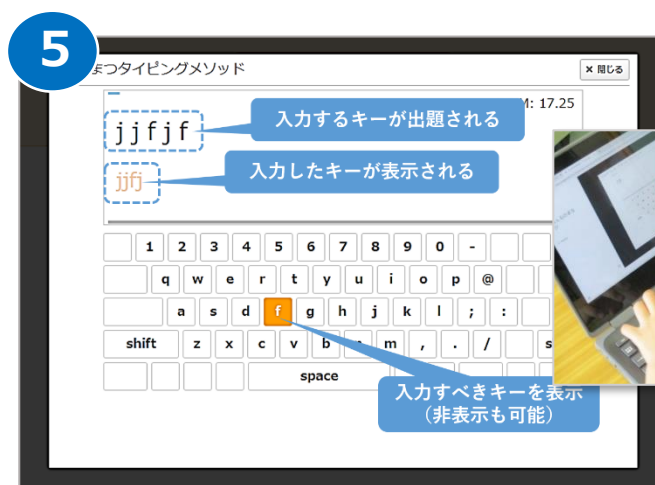
本時は、端末のキーボードに慣れることがめあてです。



浜松市の児童生徒用ポータルサイトから、タイピング練習専用サイトの『はままつタイピングメソッド(仮)』に入ります。本時は数字キーと文字キーを探す活動を行います。



サイト上で活動内容の確認と練習をします。(Googleフォーム)



自然と
両手打ちに
なる子↓



活動の確認・練習をしたら、腕試し用のタイピングアプリで実際にキーボード入力を行います。表示された文字が、キーボードのどこにあるか、確かめます。入力速度の結果がランク表示されるので、競い合ってみんなで楽しく活動することができます。